

第37回 令和7年6月6日（金）

昨日は素晴らしい体育祭を見せていただきありがとうございました。高校生が全力で何かに取組む姿は本当に感動します。ここに至るまでの準備は本当に大変だったと思います。団長さんやチアのリーダーさんをはじめ、一生懸命グランドを準備してくれたみなさんやサポートをしていたPTAのみなさん、その他ご協力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

さて、みなさんはあまりプレーを見たことがないと思いますが、ミスタープロ野球と称された長嶋茂雄さんがお亡くなりになりました。89歳、晩年は闘病が大変だったと聞いています。

スーパースターが亡くなると一つの時代が幕を閉じるような気がします。現在の大谷さんの活躍とちょうどバトンタッチをするように人生を終えられた長嶋さんのご冥福をお祈りいたします。

私の母も今年の初めにこの世を去りました。長嶋さんと同じ年でした。この世代の方に共通するのは子どものころ戦争を体験し、そのあと食糧難で苦しい思いをして、高度経済成長期に日本を支えた世代だということです。

同じく被爆体験をされているプロ野球の張本さんも老境に入るまで戦争について語りたがりませんでした。長嶋さんにも戦争の記憶はあると思うのですが、あまり話している記憶はありません。本当につらい記憶は心の中に封じ込めて鍵をしてしまうのかもしれません。

日本全体が焼け野原となっていた時代に長嶋さんの活躍はどれだけ人々を勇気づけたかわかりません。経済的に苦境に立たされている今の日本でも、朝のニュースでホームランを打った大谷さんを見るとみなさんが笑顔になるのと同じです。

スーパースターと同じ時代を生きられたことは幸せなことです。その頃がつらい時期であったとしても、活躍する長嶋さんや大谷さんが記憶に残ることで良い時代だったと思うことができます。私も長嶋さんと大谷さんを両方リアルタイムで見られたことは本当に贅沢だと感じています。

いま戦争で苦しんでいるウクライナやガザの子どもたちにも明るく輝くスターがいてくれることを願っています。暗い日々の中でも人々を笑顔にしてくれるような存在がいてほしいと思います。

スターは何らかの才能に恵まれていないとなることができないと思いますが、特別な才能がなくとも人々の希望の星になることは可能だと考えています。

みなさんはグローバルな視点を持ったリーダーに育ってほしい人材です。世界を明るく照らすような活躍をしてくれることを願っています。